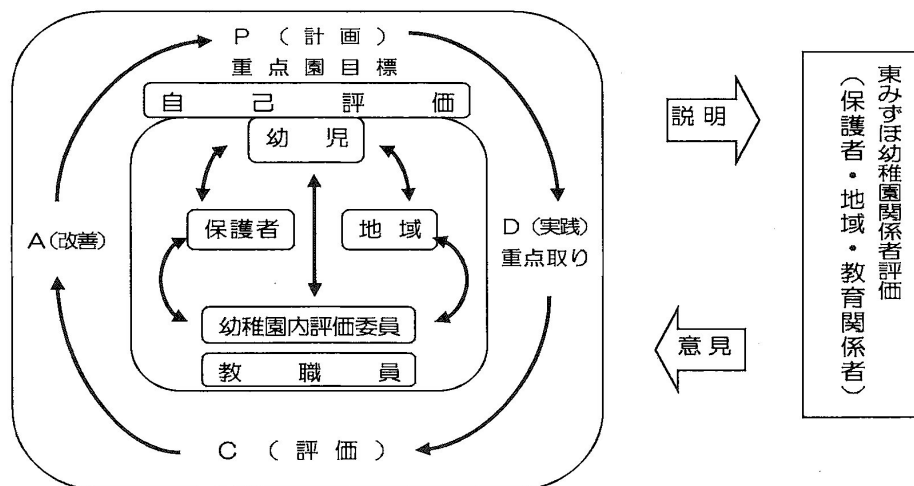


	評価項目	具体的取り組みと成果	主な活動	評価	今後の課題・改善方策	
①	<b>教育課程の編成と実践</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育要領の内容を理解し幼児の実態を踏まえた教育課程の改善</li> <li>・幼児の発達を捉え、幼児の実態の立案実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標「幼児にふさわしい環境の中で、健康で心豊かな子どもを育てる」の設定と実践</li> <li>・社会の動きに対応した教育課程の見直し</li> <li>・行事、目標を明確にした保育計画の作成</li> <li>・人権同和保育全体計画、年間計画の見直し</li> <li>・教育課程の発達を考慮し見直し</li> <li>・目指す子ども像について園内研修</li> <li>・重点目標について園内研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢交流活動の推進</li> <li>・学年間の連携保育</li> <li>・個人記録を基に個々の子どもについての共通理解</li> <li>・月案見直し作成</li> <li>・4つの項目を達成するため学年の目標を設定して課題を見つける</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼、保、小連携・交流の充実</li> <li>・個人記録の取り方</li> <li>・行事の見直し</li> </ul>
②	<b>保育指導</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境を通して行う幼稚園教育の実践</li> <li>・一人ひとりの発達の特性に応じた指導</li> <li>・幼児の主体的な活動の尊重</li> <li>・幼児との信頼関係の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活全般にわたる機会を捉えた基本的な生活習慣の取得</li> <li>・発達を捉えた計画的、総合的な指導をし、遊びを中心とした体験的な保育内容の実践</li> <li>・自分の考えを表現する取り組み</li> <li>・生命を尊重するような飼育、栽培を取り入れた保育</li> <li>・学年別食育年間計画作成</li> <li>・教師の自己評価によるスキルアップ</li> <li>・絵本の充実</li> <li>・異年齢保育の充実による仲間づくりの取り組み</li> <li>・年長児親子自然体験</li> <li>・五感を育てる食育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ指導</li> <li>・体操教室、水泳教室</li> <li>・コンサート（ロケットくれよん）</li> <li>・手作り保育（誕生児への贈り物など）</li> <li>・体験的保育（園外保育、社会見学、様々な人との交流、地域の畑で栽培・収穫）</li> <li>・動物の飼育、畑での野菜、果物、花栽培、草抜こうDAY、きれいにしようDAY</li> <li>・NOメディアDAY</li> <li>・絵本の貸し出し、朝の読み聞かせ</li> <li>・異年齢交流（散歩、2歳児のお昼寝とんとん当番、ドッジボール、マーチングの楽器、クッキー伝授）</li> <li>・えいごで cha-cha-cha</li> <li>・大山沢のぼり</li> <li>・野菜の栽培、収穫、アレルギー食対応、食育の情報提供</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ティーム保育など、教師間の協力体制の充実</li> <li>・反省課題を生かした保育実践</li> </ul>
③	<b>研究・研修</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育研究の継続的实施など指導改善の取り組み</li> <li>・園内外の研修に積極的に参加することによる教師の資質向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修、適切な研究テーマの設定</li> <li>・県や市、教育機関が実施する研修会や幼保、小学校連絡会への積極的な参加や資料の共有、活用</li> <li>・教育要領改訂の内容を研修にて把握、資料の共有</li> <li>・人権同和教育の充実</li> <li>・自然認証園としての教育推進</li> <li>・5歳児健康診査の実施方法確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の全職員による反省会、翌日の保育計画、改善対策などの話し合いによる共通理解</li> <li>・特別支援専門家などの外部講師を招いての園内研修及び検討会</li> <li>・研修会報告会による園内研修、資料配布</li> <li>・免許更新</li> <li>・教育要領改訂について研修参加</li> <li>・5歳児健康診査実施方法の研修参加</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内公開保育実践による教師の資質向上を図る</li> </ul>
④	<b>安全管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の安全点検を定期的に行い、危険の早期発見・早期対応</li> <li>・幼稚園安全計画、防災計画の立案</li> <li>・危機管理体制の整備</li> <li>・家庭への情報提供、連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練実施（火災、地震、水害、Jアラート、保護者へ引き渡し）消火栓を作動させる</li> <li>・交通安全教室実施</li> <li>・緊急時保護者一斉メール配信、緊急時持ち出し書類等の確保</li> <li>・マニュアルによる防犯訓練実施</li> <li>・事故等緊急事態発生時の対応マニュアル活用</li> <li>・職員による防犯訓練の実施</li> <li>・保護者一斉メール配信（引き渡し者を明確にする）iPad導入</li> <li>・洪水時の避難確保計画による訓練実施（永江1区東公園）</li> <li>・家庭への事故防止の啓発連絡の促進</li> <li>・自然認証園としての危機管理マニュアル作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署指導参加による避難訓練、職員消火訓練実施</li> <li>・警察署による交通安全教室（高齢者向けのDVD制作～年長児）</li> <li>・防災に関するビデオ視聴</li> <li>・防犯訓練実施</li> <li>・緊急連絡カード見直し作成、緊急時園児引取り者へのメール受信の確認</li> <li>・災害時の園児引き渡し訓練実施</li> <li>・セキュリティの強化による園児の安全確保</li> <li>・災害時、緊急事態発生時の連絡に活用</li> <li>・水難、防犯、交通安全などの情報提供</li> <li>・防災安全マニュアル・フローチャートの見直し、掲示</li> <li>・危険生物マニュアル作成、園外保育携帯用救急セット補充</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反省課題を活かした安全教育</li> </ul>

	評価項目	具体的取り組みと成果	主な活動	評価	今後の課題・改善方策
⑤ 保健管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の健康にかかわる年間指導計画の作成・実施</li> <li>・健康診断の定期的な実施と幼児の健康状況の把握・対策</li> <li>・家庭・医療機関との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の確立</li> <li>・日常の健康観察</li> <li>・内科、歯科検診、尿検査等の健康診断の実施と情報提供</li> <li>・健康管理、疾病予防などの啓発</li> <li>・環境衛生の管理</li> <li>・アレルギー対応・コロナ感染拡大防止による取り組み</li> <li>・手洗いうがい・消毒の徹底・習慣化</li> <li>・各保育室・ホール・ミニホールに手指消毒設置</li> <li>・各保育室・ホール・ミニホール除菌消臭器設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体測定、手足の爪検査実施</li> <li>・生活リズム、手洗い、歯磨き、うがい、排泄、ハンカチ・ティッシュ持参などの指導</li> <li>・内科、歯科、尿検査の結果報告、治療推進</li> <li>・保健だより配布</li> <li>・流行疾病状況の情報提供（メール配信）</li> <li>・健康に関する情報提供</li> <li>・PM2.5の情報確認を園外活動に活用</li> <li>・内科、歯科治療の完治確認</li> <li>・感染症（ノロウイルス、インフルエンザコロナ等）対応、備品の設置</li> <li>・消毒の徹底 ・マスク着用の徹底</li> <li>・毎朝の健康チェック</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴視力検査の実施</li> <li>・感染症に関する情報の早期入手、活用</li> <li>・密にならないための防止策の検討</li> </ul>
⑥ 保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域との連携を深めた共通の教育目標</li> <li>・家庭教育力の向上</li> <li>・開かれた幼稚園づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員参加形式の役員体制を持ち、園や保育に関心を持ってもらう</li> <li>・保護者会主催の行事開催</li> <li>・保護者会主催活動（手芸クラブ）</li> <li>・保護者の教育力向上を促す・家庭、地域、関係機関への情報発信</li> <li>・子育て支援事業の見直し、内容充実</li> <li>・地域の様々な人との交流（自然体験）</li> <li>・個人情報の管理</li> <li>・ホームページリニューアル</li> <li>・ブログ配信の充実</li> <li>・保護者一斉メール配信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て相談</li> <li>・参観日、フリー参観日、個人懇談</li> <li>・東みずほまつり</li> <li>・バザー商品作り</li> <li>・ミニバザー開催（作品展・親子登園日）</li> <li>・ベルマーク収集、整理</li> <li>・絵本貸出し</li> <li>・園だより、学年だより、クラスだより、保健だより、保護者会だより「ほのぼの」発行</li> <li>・NOメディアDAYの推進（月3回実施）</li> <li>・未就園児対象ぱんだっこクラブ実施</li> <li>・ぱんだクラス11月より開設（願書提出者16名で6回）</li> <li>・サッカー教室（北高生）</li> <li>・地域の畑での野菜の苗植え・収穫体験</li> <li>・ホームページ、一斉メール配信からの日々の情報提供、</li> <li>・日々のブログ配信（iPadで画像を鮮明化）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な交流が大切である為、内容を検討しながら、課題を持ち深める</li> <li>・ホームページの内容充実</li> <li>・一斉メールの活用</li> </ul>
⑦ 特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的な特別支援教育体制の整備</li> <li>・個に応じた指導・援助の充実</li> <li>・家庭との連携</li> <li>・専門機関、教育機関との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内委員会の設置、園内研修の実施</li> <li>・特別な支援を必要としている園児に対する全職員の理解と支援</li> <li>・個別支援、教育支援体制の整備</li> <li>・保護者とのコミュニケーションを密にし、協力体制での支援（家庭との連携）</li> <li>・専門機関との連携</li> <li>・個人情報の管理</li> <li>・5歳児健診推進（5歳児よなごっ子健診アンケート配布）</li> <li>・就学支援委員会参加</li> <li>・幼稚園・小学校連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育センター、鳥大小児科、博愛病院、あかしや、保健所、健康対策課、児童相談所、保育園、小学校、教育委員会、子ども未来課、子ども相談課との連携</li> <li>・個別支援計画作成</li> <li>・個別指導計画作成</li> <li>・個人面談、家庭訪問の実施、保護者への支援</li> <li>・専門機関、園、保護者との情報交換、支援体制の強化</li> <li>・米子市5歳児健康診査「5歳児よなごっ子健診」、2次健診の協力（南部町・伯耆町アンケート協力・記入）</li> <li>・巡回相談実施</li> <li>・就学先へつなぐ（すこやか伝達シート・引継ぎシート等）</li> <li>・小学校の先生来園</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画の充実</li> </ul>

	評価項目	具体的取り組みと成果	主な活動	評価	今後の課題・改善方策
⑧ 子育て支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の園での過ごし方の整備</li> <li>・幼稚園の教育力を地域で活かす</li> <li>・子育ての仲間づくり</li> <li>・子育て支援の情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育を実施し、保護者の要望に合わせた支援・連携</li> <li>・預かり保育年間計画見直し</li> <li>・預かり保育内容の充実（教育課程との連携）</li> <li>・未就園児来園行事（ぱんだっこクラブ）実施</li> <li>・ぱんだクラス開設（入園児16名）</li> <li>・子育て相談</li> <li>・ホームページリニューアル</li> <li>・保護者一斉メール配信</li> <li>・個人情報の管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育時間 平日早朝7:30～8:30 平日夕方16:00～18:00 土曜・長期休業時7:30～18:00</li> <li>・東みずほ幼稚園の特色を生かした在園生と未就園児との交流・行事の参加</li> <li>・未就園児へ向けての年間計画の案内、行事の招待状配布</li> <li>・ロケットくれよんコンサート</li> <li>・ホームページより「ぱんだっこクラブ」「ぱんだクラス」の年間計画や園の様子を案内</li> <li>・ブログ配信</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援の充実（情報発信）</li> </ul>
⑨ 施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育環境の整備</li> <li>・施設、設備の効果的な利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期修繕計画の作成</li> <li>・駐車場整備</li> <li>・園内外の清掃、整理、整頓などの環境整備</li> <li>・砂場整備</li> <li>・夏場紫外線対策実施</li> <li>・指定業者による定期点検の実施</li> <li>・防火設備点検実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具の安全点検（業者、職員）</li> <li>・ホールステージ床張替</li> <li>・1階トイレ前廊下壁修理</li> <li>・水漏れパイプ交換</li> <li>・玄関扉修繕</li> <li>・各保育室網戸設置</li> <li>・ジャングルジム塗装</li> <li>・ブランコ・チェーン等交換</li> <li>・砂場シート修繕</li> <li>・ミニホールカーテン取替え</li> <li>・ひよこ組カーテンレール修繕</li> <li>・各保育室除菌消臭器設置</li> <li>・遊具（室内・屋外）点検項目票作成</li> <li>・総合遊具塗装メンテナンス実施</li> <li>・プールと園庭に日よけやテントを設置する</li> <li>・ボイラー、防災機器、ガス、水道、電気関係、浄化槽などの定期点検</li> <li>・給水タンクの水質調査</li> <li>・メンテナンス計画作成</li> <li>・防犯カメラ映像点検、セキュリティ強化</li> <li>・通園バスの定期点検、積雪対応（シート購入）</li> <li>・非常灯交換</li> </ul>	B	



## 総合所見

今年度はコロナウイルスの影響により登園自粛や行事の縮小・中止など感染拡大の徹底を図りながら教育活動を展開してきました。例年通りにならない部分も多くありましたが保護者の皆様には、本園の教育活動にご理解とご協力を頂きありがとうございました。

あいさつはコミュニケーションの基本であり、人間関係を円滑に豊かにするための手段です。教師も保護者の皆様にも手本となるような気持ちの良いあいさつを心掛けてもらいました。

今年度は「友だちづくりは、あいさつから」を重点目標に掲げ、日常生活の中で様々なあいさつを知り、繰り返しの中で子どもたちに定着しつつあるようです。引き続き保育者・保護者が手本となり習慣づけていきたいと思えます。

本園の教育課程には、4つのめざす子ども像があります。今年度もめざす子ども像に近づくために、年齢毎の子どもの姿からそれぞれにねらいを設定して教育を進めてきました。そして学期毎に、発達に合わせた教育がなされているのか？子どもが主体となり遊んでいるのか？振り返り課題を話し合い本園らしい教育を進めてきました。

幼児教育は環境を通して行う教育です。園の環境を十分に生かし天気の良い日の自由遊びは、外に出て砂遊び・リレー・ドッジボール総合遊具や遊具で遊び、夏から秋にかけては四つ葉のクローバや虫を見つけて遊ぶ姿もあり、幼稚園の広い園庭を活用してしっかり遊び、健康な体づくりにつながっています。

また、本園の教育の特色である交流は、例年通りとはいかないコロナ禍の中、春は堀尾のおじさんの田んぼで花や小動物に触れて遊び、秋には野菜収穫や稲刈り見学・収穫したお米で大きなおにぎりを作りおじさんと田んぼで食べました。発表会で、「おむすびころりん」はこの経験からうまれました。交流の中での遊びや体験を通しての発見や気づきが子どもたちの内面を育てているようです。今後も地域の方々の繋がりを大切に本園の教育力となっていくことで温かい心の育ちにつなげていきます。

また、異年齢交流を通して①子どもたちが相互に教え合う姿②子どもたちが学び合い・育ち合う姿③「人と関わる力」が育まれる姿が身に付いて来ています。

本園は「とっとり自然保育認証園」となっています。園内外の環境を生かした自然(動物)との触れ合い、栽培、また、地域の方と連携した栽培や収穫など、自然の美しさに心をうごかされ、子どもたちが主体となった取り組みは、豊かな育ちにつながっています。

今年は、大山青年の家の指導員さんの指導の下に、年長児親子で大山阿弥陀川の沢登りを体験しました。自然の中にいる子どもたちの笑顔はとにかく最高！！挑戦する顔・戸惑っている顔登りきった顔…どの顔も園ではでは見られない表情で貴重な体験をした一日でした。

安全教育として、交通安全教室、火災・地震等の避難訓練も計画的に実施しています。今年は洪水時避難計画をもとに避難訓練を実施しました。永江1区の東公園まで、年少・ひよこ組はバスに乗って、年長・年中組は徒歩で全員避難しました。

近年多くなっている自然災害も含め大切な命を守る安全教育も管轄の消防署、警察署と連携をとり実施しました。

東みずほ幼稚園は一人ひとりの子どもたちが安心して笑顔で遊びきれよう

- ① 子どもの心に寄り添うことで、園が安心した居場所となる。
- ② 教師間の共通理解を深め、子どもたちの育ちを保障する。
- ③ さまざまな人とのかかわりを通しての心の育ちを大切にする。
- ④ 思いを伝えあえる空間や仲間づくりを大切にする。

以上の点に留意しながら子どもたちの姿や背景を考慮し、何をどう育てるのか目標を持って教育につとめます。